

---

# 全国高等専門学校 第24回プログラミングコンテスト 本選実施要項(参加要項)

---

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡ししてください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月6日(金)締切及び10月4日(金)締切で提出いただきたい書類等  
がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第24回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第24回プログラミングコンテスト  
本選実施要項(参加要項)

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通).....	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員.....	1
1.2 事務局.....	1
1.3 参加者.....	2
1.4 審査委員.....	2
1.5 会場案内.....	3
1.6 日程.....	4
1.7 提出書類等.....	5
[1] 9月6日(金)締切分.....	5
[2] 10月4日(金)締切分.....	6
[3] 受付時提出書類.....	6
1.8 知的所有権について.....	7
1.9 表彰について.....	7
1.10 学生交流企画について.....	7
1.11 会場使用上の注意点について.....	8
1.12 宿泊・昼食・指導教員等情報交換会及び会場への交通.....	8
1.13 問い合わせ先.....	9
1.14 著作物等の扱いについて.....	9
1.15 その他の注意事項.....	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項.....	10
2.1 システムの搬入・搬出について.....	10
2.2 プレゼンテーションについて.....	10
2.3 デモンストレーションについて.....	11
2.4 本選審査手順について.....	12
3. 競技部門についての連絡事項.....	14
3.1 組み合わせ.....	14
3.2 競技進行の概要.....	14
3.3 競技部門の賞.....	14
3.4 予行演習.....	14
3.5 注意事項.....	14
3.6 質問受付.....	14

付録1 会場案内図

付録2 交通案内

付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法

付録6 デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル

付録7 競技組み合わせ

同意書 1通

システム等の調書 2通

課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例 1通

課題・自由部門 操作マニュアル表紙例 1通

競技部門 プログラムソースリスト表紙例 1通

## 1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

### 1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

後 援 文部科学省，北海道，北海道教育委員会，旭川市，旭川市教育委員会，旭川商工会議所，一般財団法人旭川産業創造プラザ，旭川ICT協議会，旭川情報産業事業協同組合，旭川機械金属工業振興会，一般社団法人コンピュータソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，教育システム情報学会，独立行政法人情報通信研究機構，NHK，旭川工業高等専門学校産業技術振興会，旭川工業高等専門学校校後援会，旭川工業高等専門学校同窓会

特別協賛 東芝ソリューション(株)，アイピーシー(株)，(株)インテリジェントウェイブ，(株)NTTPC コミュニケーションズ，さくらインターネット(株)，(株)スペースタイムエンジニアリング，(株)トヨタコミュニケーションシステム，ネクストウェア(株)，富士通(株)，(株)ブロードリーフ

一般協賛 アイフォーコム(株)，(株)NTTぷらら，(株)オプティム，(株)ぐるなび，セイコーエプソン(株)，ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)，日本電気(株)，(株)BCN，弥生(株)，(株)ワコム

#### 大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長

古 屋 一 仁 (東京工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

荒 金 善 裕 (東京都立産業技術高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

神 野 稔 (近畿大学工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長

京 兼 純 (明石工業高等専門学校長)

副会長 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長

松 澤 照 男 (北陸先端科学技術大学院大学教授)

副会長 第25回大会次期主管校校長

柴 田 尚 志 (一関工業高等専門学校長)

副会長 第24回大会主管校校長

高 橋 英 明 (旭川工業高等専門学校長)

### 1.2 事務局

事務局 旭川工業高等専門学校学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

### 1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生及び指導教員

- 課題部門 20 チーム
- 自由部門 20 チーム
- 競技部門 63 チーム
- NAPROCK 国際プログラミングコンテスト 参加海外チーム 3ヶ国 3 チーム  
ハノイ国家大学(ベトナム) 競技部門 1 チーム  
成都東軟学院(中国) 競技部門 1 チーム  
モンゴル科学技術大学(モンゴル) 競技部門 1 チーム

### 1.4 審査委員

審査委員長

神 沼 靖 子 一般社団法人 情報処理学会 フェロー

審査委員

臼 井 支 朗 豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所 特任教授

梅 村 恭 司 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授

大 岩 元 相愛大学 音楽マネジメント学科 IT 音楽産業コース 教授

加 藤 裕 之 アイビーシー(株) 代表取締役社長

金 田 茂 (株)スペースタイムエンジニアリング プロジェクトマネージャ

木 下 博 行 富士通(株) ヘルスケア・文教システム事業本部

次世代教育ソリューション統括部 統括部長

柴 田 喜 匡 (株)NTTPC コミュニケーションズ ネットワーク事業部

技術開発部 システム開発担当 担当課長

杉 田 泰 則 長岡技術科学大学 電気系 准教授

千 賀 大 司 (株)ブロードリーフ 技術企画部 部長

玉乃井 慎 児 NHK 放送センター 放送技術局 メディア技術センター

クロスメディア部 部長

古 川 正 志 北海道情報大学 経済情報学部 システム情報学科 教授

前 川 徹 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 専務理事

松 澤 照 男 北陸先端科学技術大学院大学 シミュレーション科学研究センター

センター長/教授

宮 地 力 国立スポーツ科学センター スポーツ科学研究部 副主任研究員

森 良 哉 東芝ソリューション(株) IT 研究開発センター 技監

山 岡 美 之 ネクストウェア(株) 専務取締役 管理本部 本部長

吉 田 育 代 フリーランスライター

鷺 北 賢 さくらインターネット(株) さくらインターネット研究所 所長

[マニュアル審査]

久 保 慎 一 ネクストウェア(株)

津 曲 潮 (株)デザイン・クリエイション

(五十音順 敬称略)

## 1.5 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図または公式サイトをご覧ください。

1.開会式・閉会式会場	大ホール
2.課題部門プレゼン会場	3階 大会議室
3.自由部門プレゼン会場	2階 第2会議室
4.課題部門・自由部門デモ会場	地下 展示室
5.競技部門会場	大ホール・リハーサル室・大ホール第1楽屋
6.プロコン委員会本部	2階 第1会議室
7.選手・指導教員控室	大ホール客席
8.審査委員控室	3階 第5会議室
9.審査会場	3階 大会議室（大会2日目）
10.企業展示会場	地下 展示室
11.主管校事務局	2階 第3会議室
12.報道関係者控室	大ホール 第2楽屋
13.来賓控室	2階 第4会議室
14.主管校教職員控室	2階 第3会議室
15.海外チーム控室	3階 和室
16.協賛企業等控室	大ホール 第7楽屋
17.総合受付	1階 エントランスホール受付
18.主管校同時開催イベント	2階 大ホールホワイエ

## 1.6 日程

10月12日(土) 参加者受付

17:00～19:00 旭川市民文化会館 1階エントランスホールで受付を行います。  
(受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。)

※ 引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

※ 提出物については、「1.7 提出書類 [3] 受付時提出書類」をご覧ください。

10月13日(日)

- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局(「1.13 問い合わせ先」参照)に事前にご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
7:00	(会館開場予定時刻 8:15)	
8:00		
	8:30～ 8:45 参加者連絡会議 (展示室)	8:55～ 9:15 参加者連絡会議
9:00	8:45～ 9:15 システム搬入チェック	(大ホール)
	9:30～10:00 開会式 (大ホール)	
10:00	10:10～17:00 プレゼンテーション審査 (課題部門: 3階 大会議室) (自由部門: 2階 第2会議室)	10:10～13:00 予行演習 (大ホール)
11:00		
12:00	10:10～10:40 システムセッティング (展示室)	14:00～16:00 1回戦 (大ホール)
13:00		
14:00		
15:00		
	10:40～17:00 デモンストレーション 一般公開 (展示室)	
16:00		
17:00	17:15～18:00 学生交流企画(大ホール)	
18:00	18:30～20:30 指導教員等情報交換会(ロワジールホテル旭川)	

10月14日(月)

	課題・自由部門	競技部門
8:00		
9:00	8:15～ 8:30 参加者連絡会議 (展示室)	8:15～ 8:35 参加者連絡会議
10:00	8:30～ 9:00 システムセッティング	(大ホール)8:45～10:15
11:00	9:00～12:00 デモンストレーション審査・マニユ アル審査	敗者復活戦
12:00	9:10～14:00 デモンストレーション 一般公開 (展示室)	10:45～12:30 準決勝
13:00		13:15～14:00 決勝 (大ホール)
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:30～15:00 ミニ講演会(大ホール)	
15:00	15:00～16:30 閉会式(大ホール)	

## 1.7 提出書類等

### [1] 9月6日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成25年9月2日(月)から9月6日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

#### (1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしく申し上げます。

#### (2) システム等の調書

システム等の調書は公式サイトからファイルをダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要ですので、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。デモンストレーション会場においては、必要に応じてインターネット接続環境を準備します。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技会場への持ち込みを制限することもあります。詳細については公式サイトでお知らせします。

## [2] 10月4日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、平成25年9月30日(月)から10月4日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

### 【各部門共通】

#### (1) プログラムソースリスト表紙及び操作マニュアル表紙

- 表紙は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。

### 【課題・自由部門】

#### (1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

#### (2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

### 【競技部門】

#### (1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルを直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

#### (2) システム詳細説明書

- 審査用に使用します
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- 登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは10MB以内とします。

## [3] 受付時提出書類

課題・自由部門及び競技部門の本選参加チームは、10月12日(土)の受付時に、次の1種類の書類を

提出してください。

提出されない場合には本選に参加できないことがありますので十分に注意してください。

### 【各部門共通】

#### (1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.14 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとに同意書を提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生が署名し、受付時に提出してください。

#### (2) 緊急連絡先調書(各チーム1通)

- 調書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)をご記入ください。
- この書類は第24回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

## 1.8 知的所有権について

作品の制作及び発表にあたっては、知的所有権の侵害のないように十分にご注意ください。従来例では、

- キャラクターの引用
- 既存の音楽の引用
- 文献からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的所有権についての理解が不十分なことも多いと思われるので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

## 1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
特別賞	特別賞	第三位
敢闘賞	敢闘賞	特別賞

- 課題・自由部門全チームの代表者及び競技部門入賞チームの各代表2名は、**14時15分**までに大ホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- 本大会と同時にNAPROCK国際プログラミングコンテスト(<http://www.naprock.jp/IntProcon/>)を開催します。海外からの参加チームを含めて優秀なチームには、以下の各賞が授与されます。  
競技部門 国際優勝 国際準優勝 国際特別賞

## 1.10 学生交流企画について

参加者の交流を促進するため、学生交流イベントを行う予定です。詳細については、別途ご案内します。

## 1.11 会場使用上の注意点について

付録 1 に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 大ホール及び小ホールでの飲食は禁止です。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場，デモンストレーション会場，競技会場，開・閉会式会場では，必ず携帯電話等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

## 1.12 宿泊・昼食・指導教員等情報交換会及び会場への交通

- 宿泊についての申込み期日は，8 月 25 日(日)です。オンライン申込みシステム (<https://v3.apollon.nta.co.jp/procon2013/>)にて申込みください。オンライン申込みシステムについては，予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので，ご参照ください。なお，参加登録・昼食・指導教員等情報交換会の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。

### 宿泊

学生及び引率教員の宿泊は旭川市内のホテルを予定しています。

### 昼食

事前に予約された昼食は，学校毎に配付します。なお，大ホール及び小ホールでの飲食は禁止です。

### 指導教員等情報交換会

10 月 13 日(日)の 18:30～20:30，大会会場(旭川市民文化会館)から徒歩約 5 分に位置する「ロワジュールホテル旭川」(旭川市 7 条通 6 丁目 TEL0166-25-8811)において指導教員等情報交換会を開催します。参加費用は一人 5,000 円です。

### 参加者受付

本選前日(10 月 12 日(土))は，「1.6 日程」で説明したように，17:00～19:00 の時間に参加者受付を行います。旭川駅から大会会場までの経路は，「付録 2 交通案内」をご覧ください。

### 服装について

本選開催時期は，朝晩の気温が 5℃程度まで下がることがあります。上着等，防寒対策が可能な服装を準備してお越しくください。(会場施設の都合により，暖房が入らない場合がありますのでご注意ください。)

### 会場への交通

JR 旭川駅からの所要時間 徒歩：約 15～20 分 タクシー：約 5 分  
旭川空港からの所要時間 空港バス：約 40 分 最寄りのバス停 6 条 9 丁目 (ランドホテル前)  
タクシー：約 30 分

これらの件に関するお問い合わせは，下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

株式会社 日本旅行 西日本イベントコンベンション支店  
「第 24 回 全国高等専門学校プログラミングコンテスト」大会デスク  
(担当：中井・浦田)  
〒530-8341 大阪市北区芝田 2-4-24 JR 西日本本社ビル 1F  
TEL: 06-6376-6450 FAX: 06-6376-6465  
営業時間：月～金 9:30～17:30 土日祝日は休業

### 1.13 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、下記へお願いします。

#### 問い合わせ先

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

旭川工業高等専門学校 プロコン委員会事務局 学生課学生係

TEL: 0166-55-8124 FAX:0166-55-8084 E-mail: jim24@procon.gr.jp

### 1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・ビデオ等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介, 応募内容ファイル)及び9月6日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿(発表要旨, システム概要), 10月4日(金)締切で提出していただく資料(操作マニュアル, システム詳細説明書)及び競技部門の解答データは, コンテスト終了後, 公式サイトで公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオ及びプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中, コンテストの様態や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイトで公開及びプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様態・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り, 記録ビデオを撮影・編集し, CD/DVD等で配付するとともに公式サイトで公開します。
- 本選期間中に撮影された写真やビデオ類は, 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校の広報活動に使用されることがあります。

### 1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は, 明るく活発な高専のイメージが出るよう, ご協力をお願いします。
- 本コンテストは, 協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方, 主管校の教職員や学生等, 多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は, 感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは, 学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

## 2. 課題・自由部門についての連絡事項

### 2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、すでに参加登録の Web ページでご案内した通りです。参加登録時に機材輸送を申込みされた参加校には、9月上旬に参加校の最寄りのヤマト運輸の営業所から連絡がある予定です。その際に見積を依頼できますので、各校の実状に合わせてください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に梱包識別票を必ず貼付してください。
- システムは業者によって、10月13日(日)の朝までにデモンストレーション会場(旭川市民文化会館展示室)に搬入されます。参加チームは、搬入されたシステムの確認を、10月13日(日)の8:45よりデモンストレーション会場で行ってください。
- 搬出については、10月14日(月)の14:00~14:30の間にシステムを梱包の上、梱包識別票を貼付して、業者に引き渡してください。
- 梱包識別票は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

### 2.2 プレゼンテーションについて

#### プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を停止し、直ちに質疑に移りますのでご注意ください。
- 接続可能なコネクタは「ミニ D-SUB15pin」です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月4日(木)付で送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

#### プレゼンテーション審査のタイムテーブル

付録3、付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。

#### プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

## 2.3 デモンストレーションについて

### システム搬入チェック【10月13日(日) 8:45～9:15】

- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

### システムセッティング【10月13日(日) 10:10～10:40, 10月14日(月) 8:30～9:00】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅 240cm, 奥行 120cm, 高さ 250cm の範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅 180cm, 奥行は 45cm(机 1 台)または 90cm(机 2 台)です。標準は机 1 台としますが、システム等の調書で 0～2 台を選択することができ、椅子についても 0～2 脚を選択できます。
- 展示用パネルとして幅 240cm, 高さ 240cm 程度、上面に直径 17mm のバーの付いたパーティションを用意します。パーティションへの資料の固定には画鋲を使用しても構いませんが、セロハンテープ等粘着性のあるもの及びネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。画鋲を押し込む量は掲示物を固定できる最低限の量としてください。画鋲や S 字フック、吊り下げのためのチェーン、紐等、展示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。なお、会場の都合により、ブースは背中合わせとなり、違うチームが同じパーティション両面を使うこととなりますので、ご了承ください。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、基本的に机の下に置いてください。納めきれない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。
- システムを置く机の下にコンセントを少なくとも 1 口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、ブースあたりの合計容量は 500W 以下です。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。
- 各ブースには必要に応じて、インターネット接続用(対外接続 100Mbps のベストエフォート)の LAN ケーブルを 1 本用意します。
- システムの最終調整と、ブース内の整理整頓を行ってください。
- 一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

### デモンストレーション一般公開【10月13日(日) 10:40～17:00, 10月14日(月) 9:10～14:00】

デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。
- 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
- 会場の各作品のブースには、説明者を常時 2 名以上配置してください。
- 昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
- 情報交換の場として、積極的に利用してください。

### デモンストレーション審査【10月14日(月)9:00～12:00】

- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行

させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。

- 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
- 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。

#### マニュアル審査【10月14日(月) 9:00~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。

#### デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル

付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

#### システムの搬出【10月14日(月) 14:00~14:30】

- デモシステムを梱包し、梱包識別票を貼付して各ブースの机の上に置いてください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、業者と相談の上、参加者の責任で依頼してください。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

## 2.4 本選審査手順について

### I. 各審査委員における評定

#### 1. プレゼンテーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重要), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。

#### 2. デモンストレーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重要), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表掲示, 完成度等を総合して評価します。

#### 3. マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ5段階、3段階の評価をします。

正確性: A : マニュアルどおりに動作する。

A' : マニュアルどおりに動作するが、説明を受けないと分かりにくい。

B : 一部マニュアルどおりに動作しない。

B' : マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。

C : マニュアルとして不備が目立つ。

記述力: A, B, C の3段階評価(わかりやすさなど)

### II. 選考の流れ

#### 1. 評定一覧表の作成

一覧表に、各審査委員からの評定(A, B, C等)を入力します。

## 2.点数換算集計表の作成

プレゼンテーション，デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。

A=6, B=3, C=1; 各部門，審査委員の評定を合計します。

マニュアルの審査評定は下記のように換算します。

正確性に関しては，A=7, A'=5, B=3, B'=2, C=1

記述力に関しては，A=3, B=2, C=1

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。

## 3.成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし，順位を算出します。

## 4.選考の順序

以下の順序に従い，審査委員会で審議・合議の上，判断します。

### (i)最優秀賞，優秀賞

得点のみの情報を提示し，上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに，上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞)，優秀賞を決定する(新增沢方式)。

### (ii)特別賞

(i)で最優秀，優秀に選ばれなかったチームから，課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考する。

### (iii)佳作

佳作に該当する作品があるかどうか，審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢式採点法 <http://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

### 3. 競技部門についての連絡事項

#### 3.1 組み合わせ

1 回戦の組み合わせは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

#### 3.2 競技進行の概要

- 競技は、1 回戦 6 試合、敗者復活戦 3 試合、準決勝 3 試合、決勝 1 試合により行います。
- 予行演習・1 回戦は 10 月 13 日(日)、敗者復活戦・準決勝・決勝は 10 月 14 日(月)に行います。

#### 3.3 競技部門の賞

- 決勝戦での成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第 3 位を決定します。
- 応募書類、提出書類及び競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。
- 国際大会の成績は、海外チームを含めた決勝戦での順位により決定します。

#### 3.4 予行演習

競技に先立って予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時: 10 月 13 日(日) 10:10～  
会場: 競技会場(大ホール)

予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 13 日(日) 8:55～、競技会場)で連絡します。全チーム必ず参加してください。

#### 3.5 注意事項

- 付録 7 の組み合わせにあるように、1 つの対戦は最大 12 チームです。予行演習も最大 12 チームとなります。
- 準々決勝からは国際大会となり、海外チームが参加します。1 回戦には海外チームがオープン参加することがありますが、国内チームの準々決勝には関係ありません。
- 大ホールステージ上及び回答室のテーブルには、各チームに電源コンセントを 2 口(最大 150W 程度)用意する予定です。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

#### 3.6 質問受付

プロコン公式サイト(<http://www.procon.gr.jp/>)から参照できる第 24 回大会のサイトには、8 月 16 日現在、次の情報が公開されています。

- 部門のご案内「競技部門」

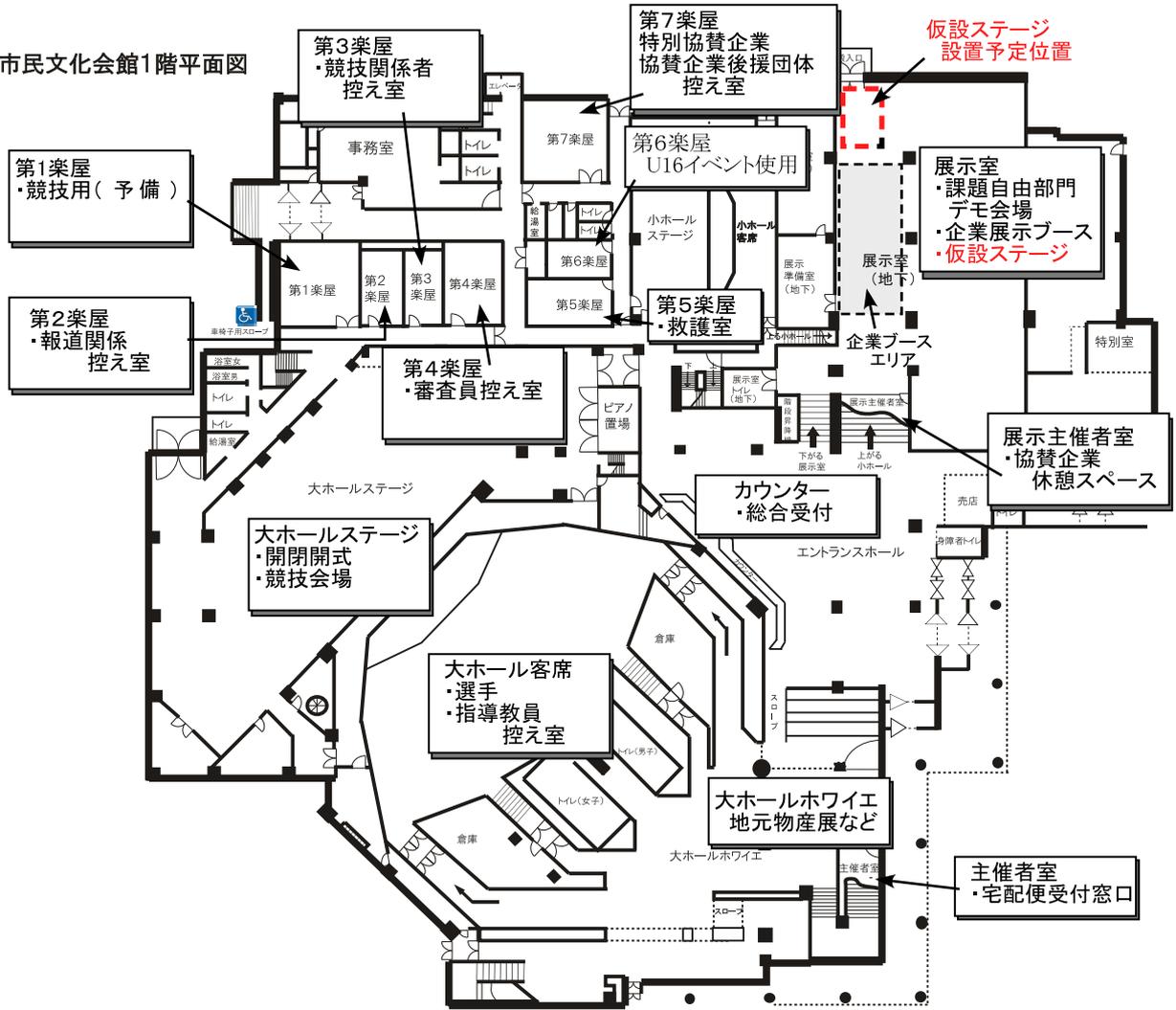
- FAQ「競技部門」
- 競技部門追加情報のご案内

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、8月30日(金)17:00まで質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答はプロコン公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

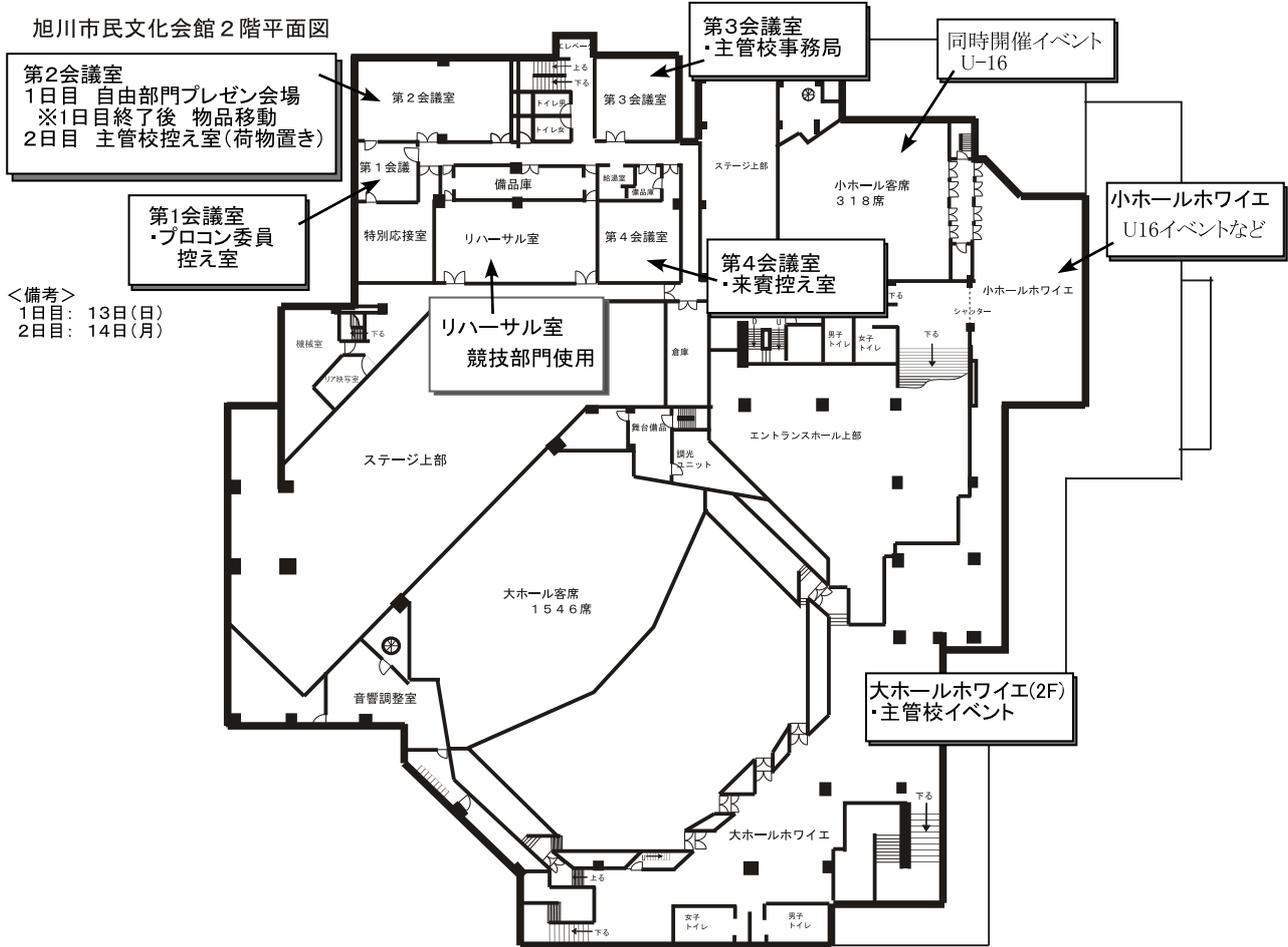
問い合わせメールアドレス： [jimu24@procon.gr.jp](mailto:jimu24@procon.gr.jp)

- 問い合わせの際は、必ず指導教員を介して行ってください。その際には、教員の所属(高専名、所属学科など)と名前を、必ず明記してください。所属や名前が記載されていない場合は、回答できないこともあります。
- 質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開します。
- 締め切り後に届いた質問に関しては回答できません。

旭川市民文化会館1階平面図



旭川市民文化会館2階平面図





## 交通案内

## 旭川市民文化会館

〒070-0037 北海道旭川市 7 条通 9 丁目

TEL : 0166-25-7331

Web : <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/siminbunka/index.htm>

- ※ JR旭川駅より徒歩 15～20 分。タクシー5 分。
- ※ 旭川空港より空港バス 40 分。タクシー30 分。
- ※ 旭川市民文化会館には、専用駐車場はありません。  
公共の交通機関をご利用ください。

## 課題部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月13日(日)10:10～16:11  
 会場 3階 大会議室  
 発表持ち時間 発表時間8分、質疑応答4分、交代1分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	Life Logger Rod	茨城
2	10:23 ～ 10:35	SMASH —明るい未来にスマートシューズ—	豊田
3	10:36 ～ 10:48	えみシステム —ICTを活用した明るい子育て支援—	高知
4	10:49 ～ 11:01	あいらんどっ —あんしん・あんぜんを いつもいっしょに—	沖縄

11:01 ～ 11:09 休憩8分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ～ 11:21	おぼえ太郎	阿南
6	11:22 ～ 11:34	ハートコンタクト —時計でつながる心とココロ—	宇部
7	11:35 ～ 11:47	RAZIOくん —ラジオ体操支援システム—	徳山
8	11:48 ～ 12:00	iMakura	奈良

12:00 ～ 13:20 休憩80分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:20 ～ 13:32	きゅ～ぶめんと	香川(詫間)
10	13:33 ～ 13:45	縁 —ゆかりのある子育て—	東京
11	13:46 ～ 13:58	AMILIA —手書きでつながる家族の絆—	小山
12	13:59 ～ 14:11	公園の神様 —友達100人できました—	鈴鹿

14:11 ～ 14:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:20 ～ 14:32	AMBULO —着て安心、歩いて元気—	香川(高松)
14	14:33 ～ 14:45	Buspo —Bus Spot—	津山
15	14:46 ～ 14:58	+Cal —助かる！乳児健診・予防接種日程管理システム—	熊本(八代)
16	14:59 ～ 15:11	ロクロのアトリエ —みんなの陶芸療法士—	鈴鹿

15:11 ～ 15:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:20 ～ 15:32	S'Location	旭川
18	15:33 ～ 15:45	あなたを見守り隊	釧路
19	15:46 ～ 15:58	Middle@爺ログ —画像による行動記録分析システム—	米子
20	15:59 ～ 16:11	かぞくぐるみ —ぬいぐるみ型コミュニケーションロボット—	鳥羽商船

プレゼンテーション審査終了

## 自由部門 プレゼンテーション審査 タイムテーブル

審査日時 10月13日(日)10:10～16:11  
 会場 2階 第2会議室  
 発表持ち時間

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	ことづて!	大分
2	10:23 ～ 10:35	とびえほ! 3D	豊田
3	10:36 ～ 10:48	SmartFan! —あなたに快適な風を届けます。—	豊田
4	10:49 ～ 11:01	Z! BA	香川(詫間)

11:01 ～ 11:09 休憩8分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
5	11:09 ～ 11:21	UTZO(うつぞー☆) —パスワード自動入力アプリ—	釧路
6	11:22 ～ 11:34	TasQ —消防通報短縮簡易化支援装置—	鈴鹿
7	11:35 ～ 11:47	smart! KANTA君 —真スマート家電—	米子
8	11:48 ～ 12:00	GuarDiAN —DisasterAlertNetwork—	香川(高松)

12:00 ～ 13:20 休憩80分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
9	13:20 ～ 13:32	SNOW-FIGHT —Anytime, Anywhere—	八戸
10	13:33 ～ 13:45	避難RouTing	久留米
11	13:46 ～ 13:58	アーチェリーエキスパート —射入魂—	金沢
12	13:59 ～ 14:11	USAKAME —娯楽型リハビリテーション支援システム—	広島商船

14:11 ～ 14:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
13	14:20 ～ 14:32	Any Ware —Hard, Softに続く第3のware—	沖縄
14	14:33 ～ 14:45	災害対策ツール —Direct—	仙台(広瀬)
15	14:46 ～ 14:58	レゴノミクス —レゴブロック製作支援システム—	米子
16	14:59 ～ 15:11	人人人 —わつつあっぷびーぼー—	小山

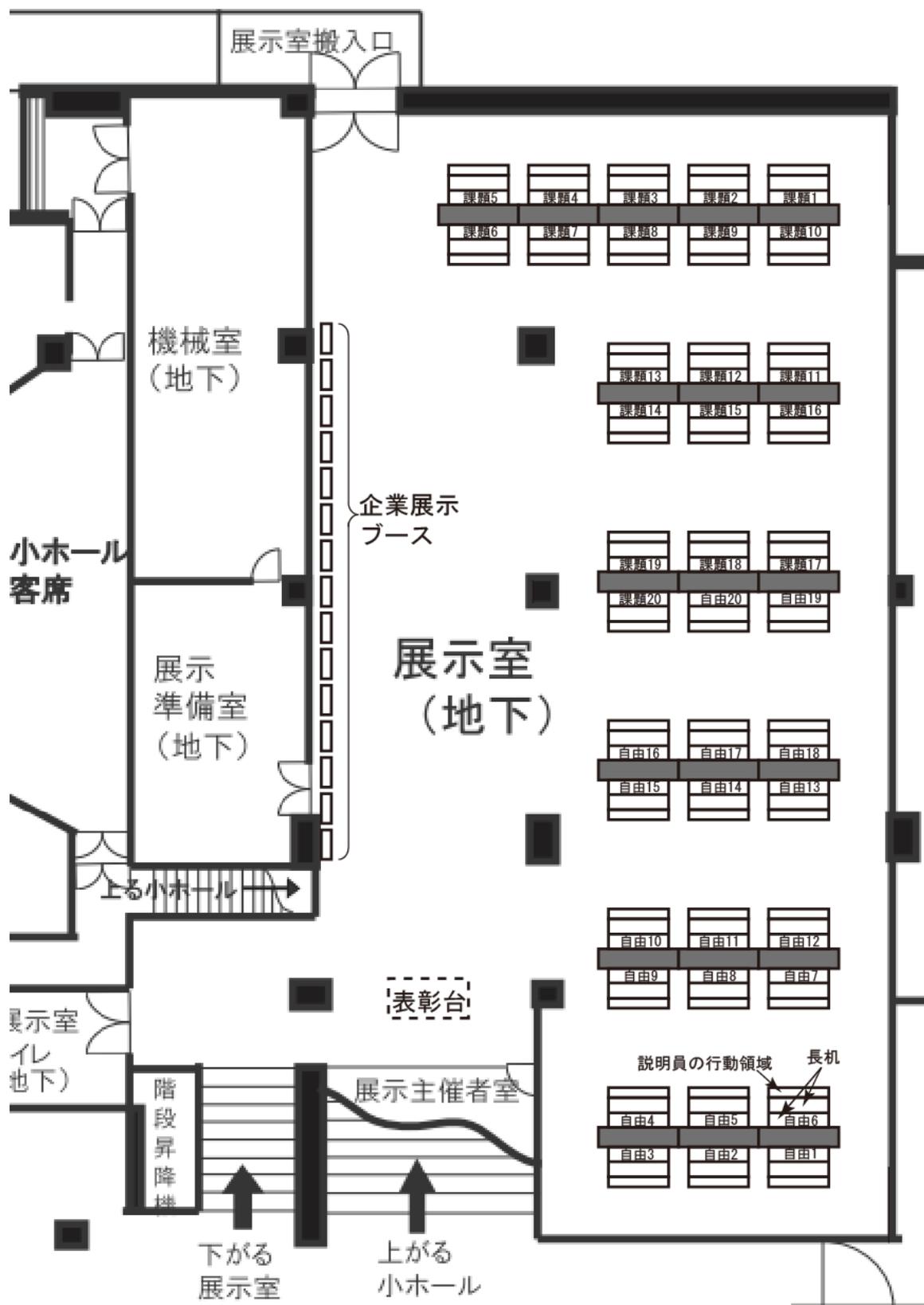
15:11 ～ 15:20 休憩9分

順番	発表予定時間	タイトル	高専名
17	15:20 ～ 15:32	サンド・デ・アート	富山(射水)
18	15:33 ～ 15:45	FaceList —顔リスト自動作成システム—	弓削商船
19	15:46 ～ 15:58	Mojava —僕の筆跡がこんなに可愛いわけがない! ?—	福井
20	15:59 ～ 16:11	すなケッチ!	鳥羽商船

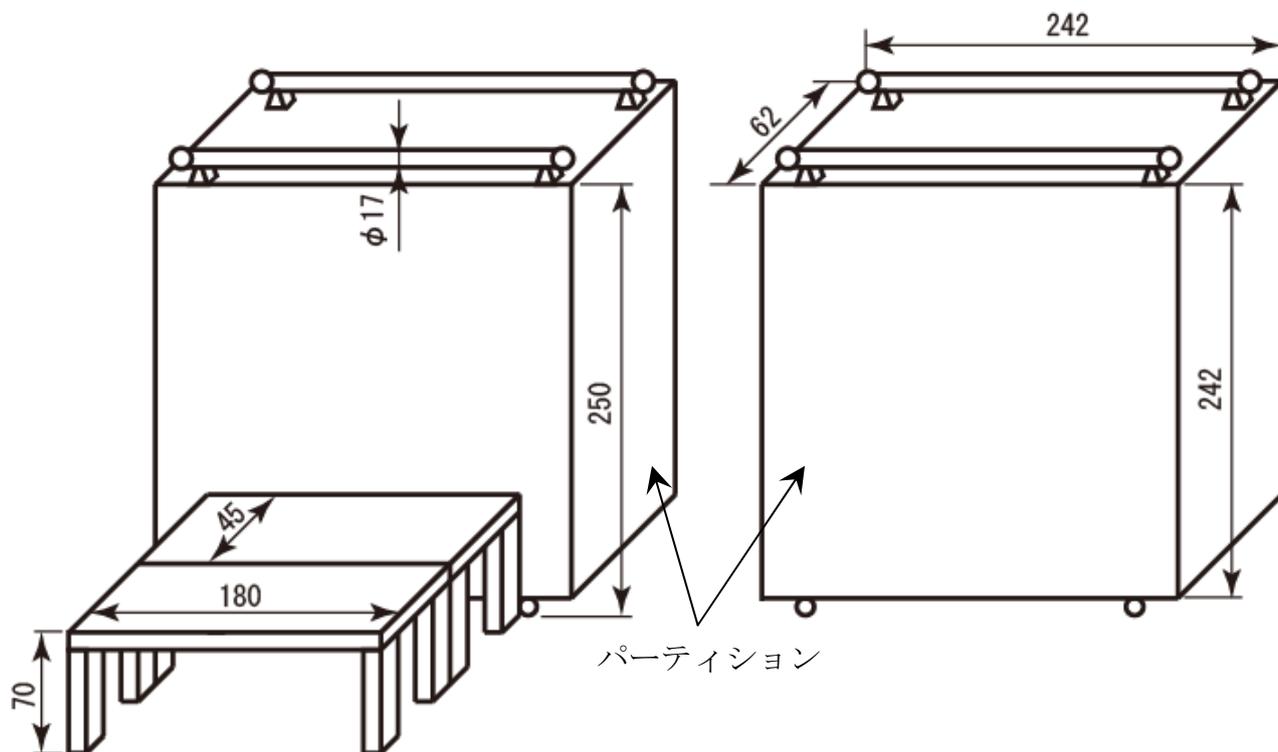
プレゼンテーション審査終了

## ブースの配置と展示スペースの概略寸法

●ブースの配置(展示室)



## ●課題・自由部門 展示スペースの概略寸法



## 注意事項

- ・ 各ブースのシステムセッティングのための領域は幅 240cm, 奥行き 120cm, 高さ 250cm です。また、発表者はこの領域をはみ出でデモを行わないように注意してください。
- ・ 掲示可能領域は幅 240cm, 高さ 240cm です。
- ・ 幅 180cm, 奥行き 45cm, 高さ 70cm の机を 0~2 台使用できます。椅子についても 0~2 脚使用できます。机を使用する場合、掲示用パネルの掲示可能領域の高さは 170cm となります。会場の都合で机 1 台を標準とします。
- ・ パーティション上面には直径 17mm のバーが付いています。
- ・ 画鋲を使用してもかまいませんが、セロテープ等粘着性のあるものおよびネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。画鋲を押し込む量は掲示物を固定できる最低限の量としてください。画鋲や S 字フック, 吊り下げのためのチェーン, 紐等, 展示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。
- ・ コンセントおよび LAN ケーブルは、パーティション使用面の下の中央付近に敷設する予定です。

## 課題部門 ・ 自由部門

## デモンストレーション審査&amp;マニュアル審査 タイムテーブル

審査日時 10月14日(月) 9:00～11:45  
 会場 展示室  
 審査時間 7分(説明2分、質疑応答5分、移動を含む)

審査時間	課題部門			自由部門		
	A班	B班	C班	D班	E班	F班
9:00 ～ 9:07	1	12	6	1	12	6
9:07 ～ 9:14	2	13	7	2	13	7
9:14 ～ 9:21	3	14	8	3	14	8
9:21 ～ 9:28	4	15	9	4	15	9
9:28 ～ 9:35	5	16	10	5	16	10
9:35 ～ 9:42	6	17	11	6	17	11
9:42 ～ 9:49	7	18	12	7	18	12
9:49 ～ 9:56	8	19	13	8	19	13
9:56 ～ 10:03	9	20	14	9	20	14
10:03 ～ 10:10	10	1	15	10	1	15
10:10 ～ 10:35	休憩時間 (25分)					
10:35 ～ 10:42	11	2	16	11	2	16
10:42 ～ 10:49	12	3	17	12	3	17
10:49 ～ 10:56	13	4	18	13	4	18
10:56 ～ 11:03	14	5	19	14	5	19
11:03 ～ 11:10	15	6	20	15	6	20
11:10 ～ 11:17	16	7	1	16	7	1
11:17 ～ 11:24	17	8	2	17	8	2
11:24 ～ 11:31	18	9	3	18	9	3
11:31 ～ 11:38	19	10	4	19	10	4
11:38 ～ 11:45	20	11	5	20	11	5

## 注意事項

- ① A班、B版、D版、E班はデモンストレーション審査  
C班、F班はマニュアル審査を示す。
- ② 1 ～ 20 はプレゼンテーション審査の発表番号の作品を示す。

付録7 競技組み合わせ

1回戦 各試合上位4チームが準決勝へ進出する。5位以下は敗者復活戦へ。

ブース	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
1	大分	津山	近畿大学	熊本(八代)	仙台(名取)	高知
2	呉	大島商船	大阪府大	松江	豊田	鈴鹿
3	香川(詫間)	苫小牧	沖縄	旭川	石川	北九州
4	福井	久留米	沼津	金沢	釧路	都立産技(品川)
5	有明	サレジオ	舞鶴	阿南	福島	熊本(熊本)
6	鶴岡	東京	長岡	弓削商船	函館	秋田
7	奈良	群馬	都城	広島商船	小山	香川(高松)
8	富山(射水)	木更津	明石	鹿児島	岐阜	八戸
9	一関	長野	米子	神戸市立	宇都	徳山
10	佐世保	鳥羽商船	和歌山	仙台(広瀬)	茨城	新居浜
11				ハノイ国家大学	モンゴル科学技術大学	成都東軟学院
12						

敗者復活戦 各試合上位3チームが準決勝へ進出する。

ブース	第1試合	第2試合	第3試合
1	1-1-5	1-2-5	1-3-5
2	1-5-5	1-6-5	1-4-5
3	1-3-6	1-1-6	1-2-6
4	1-4-6	1-5-6	1-6-6
5	1-2-7	1-3-7	1-1-7
6	1-6-7	1-4-7	1-5-7
7	1-1-8	1-2-8	1-3-8
8	1-5-8	1-6-8	1-4-8
9	1-3-9	1-1-9	1-2-9
10	1-4-9	1-5-9	1-6-9
11	1-2-10	1-3-10	1-1-10
12	1-6-10	1-4-10	1-5-10

準決勝 各試合上位4チームが決勝へ進出する。

ブース	第1試合	第2試合	第3試合
1	1-1-1	1-2-1	1-3-1
2	1-5-1	1-6-1	1-4-1
3	1-3-2	1-1-2	1-2-2
4	1-4-2	1-5-2	1-6-2
5	1-2-3	1-3-3	1-1-3
6	1-6-3	1-4-3	1-5-3
7	1-1-4	1-2-4	1-3-4
8	1-5-4	1-6-4	1-4-4
9	C-3-1	C-1-1	C-2-1
10	C-1-2	C-2-2	C-3-2
11	C-3-3	C-1-3	C-2-3
12	成都東軟学院	モンゴル科学技術大学	ハノイ国家大学

決勝戦

ブース	第1試合
1	S-1-1
2	S-2-1
3	S-3-1
4	S-1-2
5	S-2-2
6	S-3-2
7	S-1-3
8	S-2-3
9	S-3-3
10	S-1-4
11	S-2-4
12	S-3-4

※ X-Y-Z は X 回戦-第 Y 試合-第 Z 位 を表します。  
 ※ ただし、X 部分のCは敗者復活戦、Sは準決勝を表します。  
 ※ 1回戦の第4試合目、第5試合目、第6試合目の11番ブースには海外チームがオープン参加します。オープン参加のチームの成績は、日本チームの順位には関係ありません。  
 ※ 準決勝・決勝はNAPROCK国際プロコン(国際大会)を兼ねて実施されます。準決勝・決勝の海外チームは国際大会の公式エントリーで、日本チーム・海外チームの区別なく、試合の成績により決勝進出や準決勝・決勝での国際大会の順位が決まります。  
 ※ 全国高等専門学校プログラミングコンテストの順位については、海外チームを除きます。

## 同意書

プログラミングコンテスト委員会が、以下の著作権物等を以下のような用途及び範囲で利用することを許諾します。

### 【対象（著作物等）】

- ・ 応募時提出書類（作品紹介または応募内容ファイル）
- ・ パンフレット原稿（発表要旨またはシステム概要）
- ・ プレゼンテーションに用いたファイルおよびデータ
- ・ 操作マニュアル
- ・ プレゼンテーション、デモンストレーション、競技等のビデオ及び写真
- ・ 競技部門の解答データ

### 【用途】

- ・ 大会記録
- ・ 主として高専学生を対象とした教材への利用
- ・ マスコミ等への取材協力
- ・ 全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動

### 【公開範囲】

- ・ プロコン公式サイト
- ・ 記録 CD/DVD
- ・ パンフレット等
- ・ プロコンのライブ配信
- ・ 高専学生用 e-Learning システム 等
- ・ TV、新聞、雑誌等への掲載

上記内容に同意します。

2013年 月 日

高 専 名： \_\_\_\_\_ 高等専門学校

部 門 名： 課題 ・ 自由 ・ 競技 部門

作品タイトル： \_\_\_\_\_

署 名（自 署）：

指導教員 \_\_\_\_\_

学 生 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



**システム調書記入上の注意事項：**

1. 課題・自由部門では、インターネット接続を以下の条件で提供します。
  - 各ブースに1ポートのUTPケーブルを提供します。
  - 主催者側では、インターネット接続を保障するものではありません。障害発生時のことも考慮に入れてシステムを構成してください。
  - HUB、ルータ等は各自で準備してください。
  - ネットワーク接続は、DHCPによるアドレス発行を行います。
2. 無線LANを使用する場合は、その概略仕様等もお知らせください。
3. テーブルや参加者用の椅子なども含めて幅240cm、奥行120cm、高さ250cmの範囲に置けるものとしてください。
4. 各ブースのテーブル（幅180cm、奥行45cm）は委員会で設置を予定しています。必要数を「その他」の欄にて○で囲んで教えてください。なお、2台設置する場合は手前に並べますので幅180cm、奥行き90cmとなります（本選実施要項の付録5参照）。

**全国高等専門学校**  
**第24回 プログラミングコンテスト**  
**システム等の調書**

部 門	競 技 部 門	登 録 番 号	
学 校	校 名	高等専門学校	
	住 所	〒	
	電 話	(            )	—
指 導 教 員	学 科		
	氏 名		
シ ス テ ム	使用機器の構成 (使用するノートパソコンの台数。特別なデバイスやLANを使用予定の場合は、その概略仕様等。)		

**提出期間：9月2日(月)～9月6日(金)**  
**提出方法：オンライン登録**

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名： ## ##

## ##

## ##

## ##

## ##

指導教員： ## ##

##部門：発表順番号（登録番号） ##（#####）

タイトル：「#####」

学校名：####高等専門学校

学生氏名： ## ##

## ##

## ##

## ##

## ##

指導教員： ## ##

競技部門：登録番号      #####

タイトル：「#####」

学校名：#####高等専門学校

学生氏名：   ##   ##

              ##   ##

              ##   ##

指導教員：   ##   ##